

ひまわりだより

春日こども園
令和7年度 活動報告 No. 5



＜秋の遠足＞

秋の風を感じながら、遠足に出かけました。公園へ向かう道にはたくさんの落ち葉が広がっていて、子どもたちは足元を見ながら「カサカサって音がする」「黄色の葉っぱだ!」と歩くたびに秋の自然を感じていました。どんぐり探しでは「大きいの見つけたよ」「帽子がついてる」と声に出して友達と共有しながら夢中になって拾っていました。また、友達と大きさや形を比べたり、交換したりしながら一緒に集める楽しさも味わっていました。異年齢のかかわりでは、少し照れくさそうにしていた子も、体を動かしながらリズムに合わせて遊ぶうちに心も体もほぐれ、親しみが深まっていきました。年長児が年下の子の手を取って優しくリードする姿に憧れをもったひまわり組の子どもたちは、自分たちよりも小さい年少児のお世話をする姿も見られました。「手伝ってあげるよ」と優しく声をかけたり、レジャーシートを広げてあげたりなど思いやりの気持ちや頼もしさが少しずつ育っています。



＜秋の自然物を使って＞

遠足で拾ったどんぐりや園庭で見つけた落ち葉や小枝を使って製作遊びをしました。子どもたちは「みのむしを作ろう」「この葉っぱ、うさぎの耳になるよ」と、想像力を広げていました。友達の作品を見て「かわいいね」「私もやってみよう!」と刺激を受けながら、一緒に作ることを楽しむ子もいました。ボンドを使って細かい部分を丁寧に貼ったり、バランスを考えて並べたりと集中して取り組む姿が見られました。「見て! ハートができたよ」と完成した作品を友達や保育者にうれしそうに見せ、達成感を味わっていました。これからもいろいろな素材に触れながら想像を広げ、自分の思いを形にすることで表現する力や想像力を育てていきます。



＜交通教室＞

信号の見方や横断歩道(交差点・単路)の渡り方、道路の歩き方などを学び、実際に園庭で練習をしました。歩行訓練では、信号や車を自分の目で見えて「右、左、右」と声に出しながら真剣な表情で取り組んでいました。交通教室を通して「自分の命を守る」大切さに気づき、日常の中でも交通ルールを意識し、安全に行動できるようにしていきます。



＜いもほり＞

玉ちゃん会の御厚意により、芋ほり体験をしました。芋ほりに出掛ける前に、子どもたちと一緒に「どんな色のお芋が出てくるかな?」「葉っぱはどんな形かな?」などと想像すると同時に「大きいお芋が掘れたらうれしいね」と、期待に胸をふくらませていました。玉ちゃん会の方に掘り方を教えてもらい、土の中をのぞきこみながら夢中で掘り進める子どもたち。なかなか掘れない時も、友達と協力して「一緒にやろう!」と声をかけ合いながら取り組む姿が見られました。自分の手でのお芋を掘り出した時の、目を輝かせた表情や満面の笑みが印象的でした。これからも地域の方とのかかわりを通して、人に親しみや感謝の気持ちをもつ心を育てていきたいです。



＜10月誕生会＞

3つのグループに分かれて、どのグループが全員早く王様(誕生日)にじゃんけんに勝てるかを競いました。順番を守りながら王様の前に進み、「じゃんけんぽん」と元気な声が響きました。勝てた時には「やったー」と笑顔がはじけ、負けた時にも「次は勝つぞー」と前向きに挑戦する姿が見られました。一つの目標に向かって仲間を応援したり、励ましたりする中で取り組む楽しさを感じているようでした。